

愛糖協ニュース

NO. 67

2017年11月24日

発行 愛媛県糖尿病協会 代表者 森田 哲司
〒791-0295 東温市志津川
愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科内

愛媛県世界糖尿病デーイベント報告 (第1報) 「みんなでブルーサークル 糖尿病予防 in えひめ」

世界糖尿病予防デー (WDD) の活動も今年で10年を迎えました。2017年愛媛のWDDは、11月14日(火)に伊予鉄高島屋大観覧車くるりん、松山城、済生会松山病院、大洲城、市立宇和島病院、今治公会堂、鷹の子病院そして今年からは今治国際ホテルがブルーにライトアップされました。全国では200か所を超えるライトアップの競演が見られました。

11月19日(日)には大街道で糖尿病予防

WDDの活動を開催しました。今年一番の寒さということで、寒風が吹きぬける大街道でした。しかし、人並みは途絶えることなく続き、「去年より頑張って良くなっています」「今年も健康チェックしました。クイズ、体操してタオルを」「東京から来ましたがフットケアはいいですね」そんな声を聴きました。対応したスタッフは愛媛糖尿病療養指導士を中心に総勢約70名でした。寒い中でも熱心な参加者とスタッフで、温かい風がまわっていました。また、ブルータオル体操は寒さで固まった体に有効なストレッチでした。ポータブルスピーカーが故障！パネルが風で倒れそう！そんなトラブルもありましたが、大街道商店街様の全面的なご支援を頂き無事に終了しました。WDD活動にご参加いただいた愛媛県糖尿病協会会員の皆様、ご支援いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

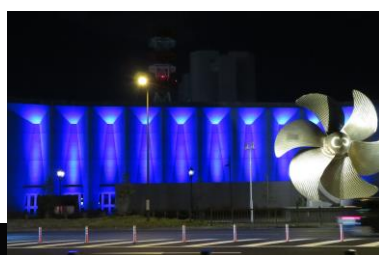
(事務局：中村慶子)



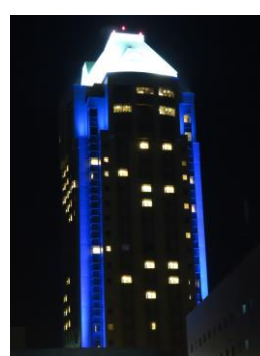
2017年11月14日(火) 県内各地のブルーライトアップ



【松山城】



【今治公会堂】



【今治国際ホテル】



【くるりん】

【世界糖尿病予防デーイベントに参加して】

世界糖尿病デーに合わせて、今年も大街道でイベントを行いました。

今年もフットケアコーナーでは、寒さにも負けず靴下を脱ぎ、一緒に素足を覗き込みながら、熱心に話をしてくださり、市民の方々の関心の高さが伝わってきました。

来られた方から「昨年も見てもらったのよ。洗った後は保湿をしてねと教えてもらったから、時々思い出して塗ってるわよ。」とうれしい声も聞かれ、フットケアの大切さをみんなで確かめました。(看護師：沖原秀子)



今回の活動では、57名の方に栄養相談に来ていただきました。相談内容としては、糖尿病の食事はもちろん、血圧や脂質異常、減量、間食、健康食品、自身の食生活に問題が無いかなど様々な相談がありました。寒い中、積極的に来て質問をしてくださる方もおられ、とても関心を持って参加されていることがわかりました。今回の活動を通して、糖尿病、糖尿病予防のみならず、健康づくりについても振り返ることのできる機会であると感じました。(管理栄養士：山根由梨枝)



私は今回、握力・膝伸展筋力測定や運動に関する個別相談を担当致しました。このような活動に参加することは初めてで、担当した仕事を行うだけで精一杯でしたが、理学療法士として地域への関わりを体験することができました。加えて運動相談を行う中で参加されている方の日常をお聞きすることができ、想像以上に健康意識の高い参加者様が多く、驚き一杯でした。WDD 啓発活動に参加することで、普段経験する事ができない体験できました。またこのような活動に参加したいと思います。

(理学療法士：中村拓矢)



市民の方やスタッフ全員でブルーサークル体操！

愛媛県臨床検査技師会 13名は血糖測定をご希望の方に行いました。今年はかなり寒かったこともあり例年より測定した方は少なめでしたが、374名の血糖測定をしました。そのうち8名の方は血糖値が高めでしたので、指導を行い、200mg/dl以上の方は医師の医療相談を受けて頂きました。今後も愛媛県臨床検査技師会は、他のスタッフと共に、糖尿病予防啓発活動に協力して糖尿病の早期発見・治療に努めていきたいと思えます。(臨床検査技師：小林知子)



12月号の愛糖協ニュースでも、引き続き愛媛県世界糖尿病デーイベント報告(第2報)をお伝えする予定です。さらに、事務局から愛糖協会員のみなさまに、ビックなお知らせも行う予定です。お楽しみに！！